

7.2 現状の課題とその原因

現状で考える自然環境に対する課題とその原因について、図-7.3 のフローにまとめた。大きな課題は、下記の3点であると考えている。

現在豊かな樹林地となっている池周辺部分はほとんどが民有地であり、造成等による改変が懸念される。

乾燥化により池を中心とした湿地が減少してきている。

池周辺に発達した樹林地が高木・壮齢樹化することによる極相化（単調化）してきている。

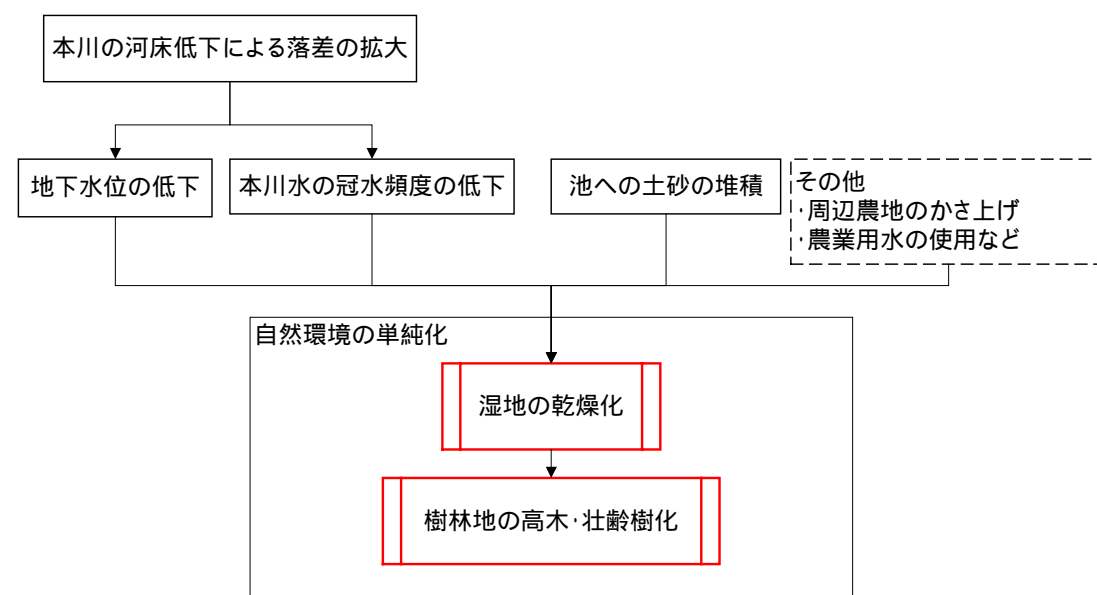


図-7.3 課題とその原因

自然再生地の民有地

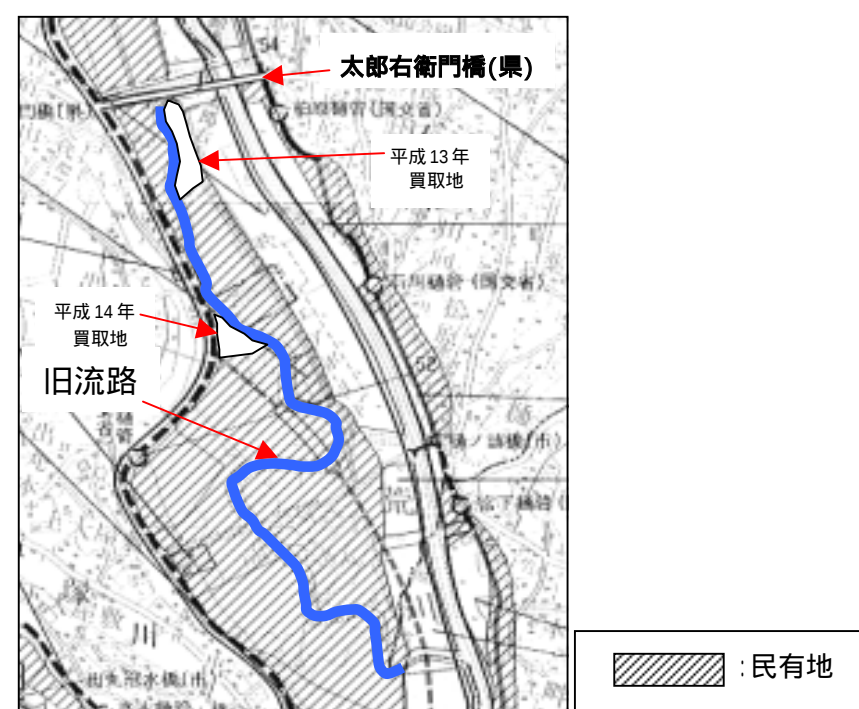


図-7.4 自然再生地の民有地

本川の河床の低下

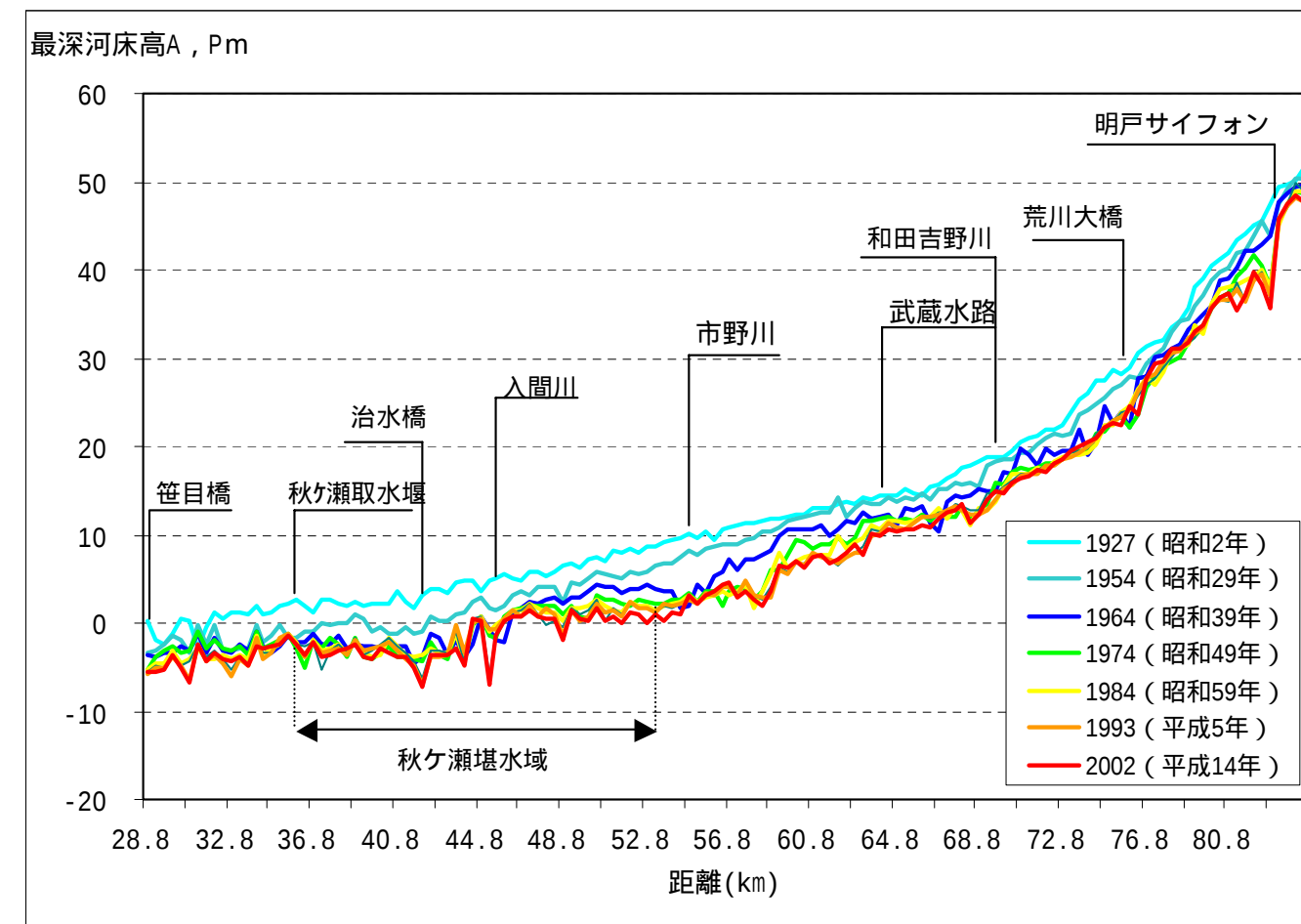


図-7.5 最深河床高縦断面図（荒川縦断面図等）

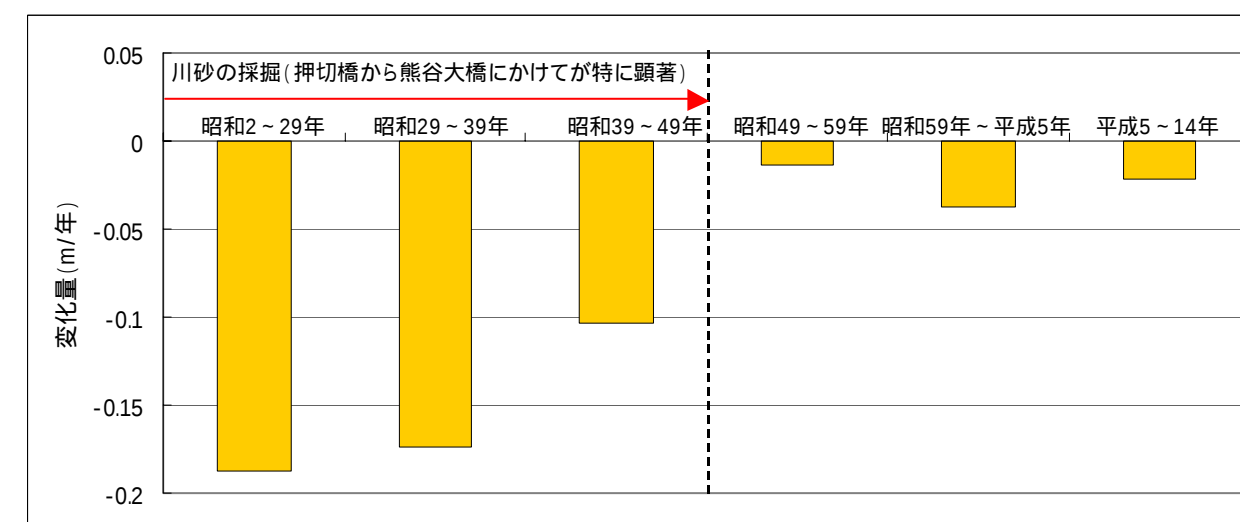


図-7.6 河床の変化量の推移（全地点の平均）

昭和20年代から50年代にかけて、荒川で盛んに行われた川砂の採掘により河床が著しく低下したと考えられている。また、昭和50年代以降では、河床低下の度合い全体的には安定化しているものの、一部では現在も進行しているものと考えられる。